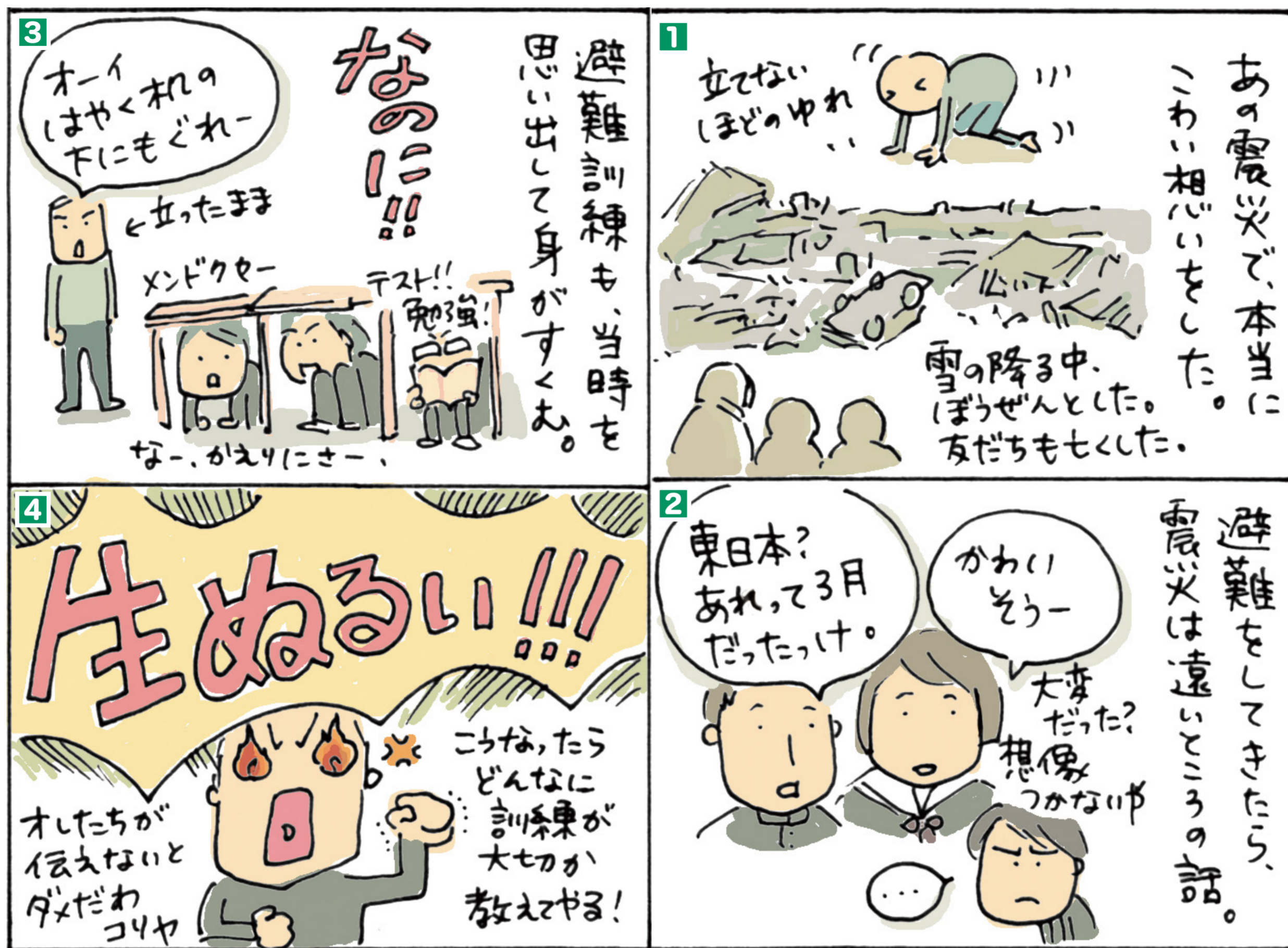


生ぬるい!!!



震災や避難を経験した若者からのメッセージ

- 学校の避難訓練で、私はすごく真面目に取り組んでいたけど、笑われたり、「地震なんてちょっと揺れるだけでしょ」とふざけられているのが嫌でした。子どもだけでなく、大人でも非常時の対応を知らない人もいます。みんなにちゃんと防災訓練を受けてもらいたいです。
- 震災直後、私は海から数メートルの場所におり、津波が生まれ育った街を飲み込んでいく一部始終を高台から見ていました。震災では家族を助けに自宅に戻り、被災した方も多数います。私の育った岩手県釜石市では『津波てんでんこ』という教を小中学校の頃から教わってきました。「津波が来たら、取る物も取り敢えず、肉親にも構わずに、各自てんでんばらばらに高台へと逃げろ」「自分の命は自分で守れ」という意味です。いざ自分が震災に直面した際は、ぜひこの言葉を思い出してほしいです。
- 震災を経験し大変だったけれど、そこでいろんな経験をして今の知識や自分があります。普段から様々な経験をして生きる力を身に付けていくことで、いざという時にその経験が生きてくると思います。
- 常に災害を想定することは難しいと思いますが、一度だけでも、家族と時間をかけて避難先について話し合っ欲しいです。近年は大雨や川の氾濫など、身近に感じやすい災害も増えています。一度でも、真剣に考えてくれると身を助けてくれるかもしれません。

311県外避難者について考えよう